

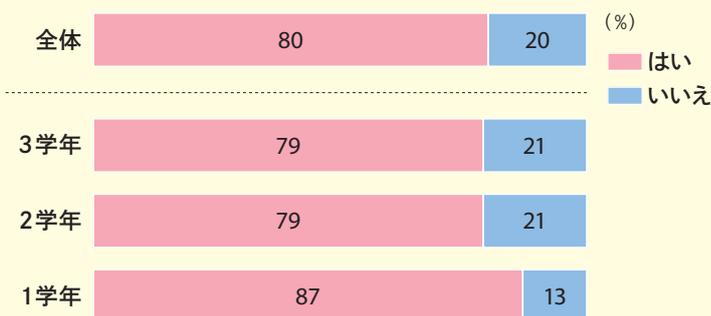
生きる力を育む 一歩前へ

自宅学習が長期化する中、探究学習を通して身につけた主体性や学びに向かう力を発揮できた生徒と、できなかった生徒で、数値で測ることのできない差が生じていた。そうした状況から、探究学習を一層重視すべきだと感じている。
(公立・北海道)



「総合的な探究の時間」が「総合的な探究の時間」に変更され、それを繰り返す探究学習が一層重視される。学習を実施予定としていた高校は全体の8割に上った。実施率は2割弱にとどまってしまったが、こそ、探究学習の必要性を訴える声も少なくない。実践事例などを通じて、探究学習の意義やに深めるために必要な視点について考えていく。

■ 臨時休業前、2020年度は「探究学習」を実施予定でしたか



探究学習の意義と実施の第一歩を考える

第1部 探究学習を始める —「総合的な探究の時間」での実践に向けて

卒業生の成長に見る
探究学習の意義

- 体験談1 東京都・私立広尾学園中学校・高校 P.3
- 体験談2 宮崎県立飯野高校 P.5
- 体験談3 山梨県立吉田高校 P.7

実践校が語る
探究学習の推進のあり方

- 事例1 東京都・私立田園調布^{ふたば}双葉中学・高校 P.11
- 事例2 神奈川県立^{やまきた}山北高校 P.15

探究学習スタートガイド P.19

生徒の・教師の・自校の・社会のNEXTを語り合うワークシート P.23

*上記の教師の声とグラフは、ベネッセコーポレーション「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校指導への影響に関するアンケート第2回」(2020年5月実施、回答者・高校教師247人)を基に編集部で作成。

新型コロナウイルスの感染拡大は、
日本社会の問題をいくつも浮き彫りにした。
社会を再構築できる人材を育成するためには、
これまでの教育とは異なる方向性と
カリキュラムを模索しなければならない。
探究学習もその1つとして、
実践や研究を深めるべきだ。

(公立・大分県)

予測困難な社会を 探究学習

2022年度から実施される新学習指導要領では、「総合的
生徒が自分で課題を設定し、自分なりの答えを出
19年度に先行実施が始まったこともあり、20年度に探究
新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、その
現場の教師からは、予測困難な事態を経験した今だから
そこで本誌では、卒業生の探究学習の体験談や
実施スタート時のポイント、そして探究学習をさら

教科・科目の枠を超えて
複合的に物事を
検証・理解・探究することは、
人間力を高める上でも重要だと考える。
それは、突然の環境変化にも
対応できる力も育むだろう。

(私立・東京都)



探究学習の次なる一步を考える

第2部 探究学習を広げる — 教科学習での実践や、外部連携の充実を目指して

新たな学びに挑む 教科における探究学習の 授業デザイン

- インタビュー** 東京都・私立広尾学園中学校・高校 木村健太 P.25
- 事例1** 現代文／東京都・私立玉川学園中学部・高等部 P.27
- 事例2** 数学／神奈川県・私立サレジオ学院中学校高校 P.29
- 事例3** 地理・日本史・英語／石川県・国立金沢大学
人間社会学域学校教育学類附属高校 P.31

海外の先進事例に学ぶ 地域連携の視点

- レポート1** 宮城県石巻^{いしのまき}高校 高橋 就^{しゅう} P.33
- レポート2** 岡山県・私立岡山龍谷^{むつり}高校 青山睦紀 P.35

学校支援者が伝える 社会に開かれた学びの重要性

- インタビュー** 認定特定非営利活動法人カタリバ 代表理事 今村久美 P.37